

ビオマツト

会社紹介

ビオマツト社 (snc) は 1992 年に設立され、生物医学的な応用のための表面変性の分野において営業活動を行っております。

その営業活動は診断及び医療の両分野における生物医学的利用のための表面処理の研究、開発及び応用を取り扱っております。

ビオマツト社は表面変性のための広範囲の各種技術により営業活動を行っております：

- プラズマ (グロー放電)
- 化学変性
- 生物学的塗布

上記のそれぞれ単独または相互組み合わせ



顧客の物品の表面処理

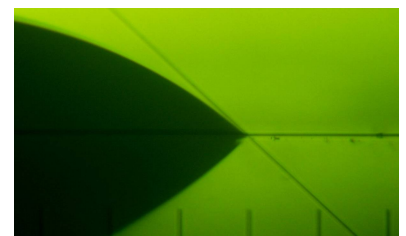
プラズマベースの表面処理は競争力のあるコストで良い結果を与えるので生物医学的分野での使用に特に適しております。

プラズマ処理は下記の用途に適しております：

- 生物医学的及び工業的用途向けの親水性または疎水性表面の調整
- 生物学的塗布の準備としての表面結合容量の増加
- 表面洗浄／エッチング
- インキ、塗料及び接着剤の接着性の向上



未処理のポリプロピレン、



表面処理ポリプロピレン

広範囲の物品がその利用目的に必要な表面物性を実現するために処理可能です。



- キュベット
- フィルタ
- メンブレン
- 生物化学素子
- 及び多数の他の物品

ピオマット社が提供できるのは表面処理を顧客の品目の特性に適合させるのに必要なプロセスの研究と開発を含んでおり、その両方を表面処理サービスと技術移転にまでもって行くことが可能です。

